LIXIL

オブリークフェンス　取付説明書

●このたびは、当社製品をお買いあげいただきましてまことにありがとうございます。
●この取付説明書に示した表示記号の内容は、製品を安全に正しく施工していただき、施主様等の危害や損害を未然に防止するためのものです。
表示記号の内容を良く理解したうえで、本書の内容（指示）にしたがってください。
●この取付説明書では、次のような記号を使用しています。

安全に関する記号	記号の意味
警告	●取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負うおそれのある内容を示しています。
注意	●取扱いを誤った場合に、使用者が中・軽傷を負うおそれのある内容、または物的損害のおそれがある内容を示しています。
一般情報に関する記号	
ポイント	●取付手順で、特に注意して作業をしていただきたいことを示しています。 ●守っていただかないと組付けができない内容、または製品全体に後々不具合が発生する守おそれのある内容を示しています。
※	●取付説明の内容全体（個々の説明枠）にかかる注意事項を示しています。 ●取付説明の内容に制限がある場合の条件を示しています。
補足	●説明の内容で知っておくと便利なことを示しています。

＜施工の前に＞

警告

- フェンスは、隣地との境界を示す目的で設置するものです。転倒防止を目的とした防護柵や歩行補助を目的とした手すりとしては使用しないでください。
- がけ上や高台など、転落したらケガをするおそれのある場所にはフェンスを使用しないでください。

注意

- 製品の施工には、危険を伴う場合がありますので、必ず専門の工事業者による施工をお願いします。
- 正しく施工，組付けをするために、施工前に必ず取付説明書をお読みください。
- ご使用になる場所に合わせて基礎寸法を算定してください。本取付説明書に記載している基礎寸法は、長期地耐力100KN/㎡、風速34m/s（※）相当の地域を想定した参考寸法です。

※建築基準法施行令第87条に規定される、V_0に準じた風速。

- 製品の施工については、必ず取付説明書にしたがってください。
- 製品の取付けには、下穴を開ける部分とドリルネジを使用する部分があります。φ3.5㎜の金属用ドリルと電動工具をご用意ください。また、切詰め時に必要なリベット（φ4.8丸頭 呼び63のブラインドリベット）は現場で手配してください。
- 施工終了後、取付説明書は施主様にお渡しください。

＜施工上のご注意＞

注意

- 施工工事にあたっては、安全に施工を行なってください。
  ・作業服及び保護具（保護帽、安全帯、眼、耳、手、足の保護具）を正しく使用してください。
  ・作業場所の整理整頓を行なうとともに、安全確保を行なってください。
  特に高所作業での安全確保、倒壊防止、照明による照度の確保など。
  ・器具、工具、保護具などの機能を確認し、使用してください。
  ・作業は、相互の作業と各作業工程を考慮して進めてください。免許、技能講習、特別教育が必要な作業は、有資格者が行なってください。
  ・作業者が相互に安全確認を行なってください。健康状態を十分に確認し、健康管理を実施してください。
  ・万が一、事故が発生した際には、直ちに手当てを行ない、救助を第一に心がけてください。

＜施工上のご注意＞

⚠ 注 意

- 現場でブラケットや継手を組付け・締結する場合は、施工後に締結具合を必ず確認してください。締結不良は風による破損・飛散事故の原因になります。
- 柱と本体ジョイント部の間隔は300㎜以内に施工してください。それ以上離れると製品強度が維持できなくなります。
- 柱埋込み時には水抜き穴を塞がないように施工してください。柱の腐食が促進されるだけでなく溜まった水が凍結し、破裂するおそれがあります。
- 柱の内部にモルタルを詰めたりしないでください。

＜基礎工事について＞

⚠ 注 意

- コンクリート（またはモルタル）には、塩分を含む砂（海砂）および塩素系や強アルカリ系のコンクリート用混和剤（凍結防止剤、凝固促進剤、急結剤など）は使用しないでください。使用するとアルミなどの金属が腐食する原因になります。必要な場合は、非塩素系や非アルカリ系の混和剤をご使用ください。

■梱包明細表

【1】本体セット

名　称	略　図	員　数
本体		1

【2】支柱セット

名　称	略　図	員　数
支柱		1
胴縁ブラケット		2
【2-1】M8×90六角ボルト		2
【2-2】M8バネ座金		2
【2-3】M8平座金		2

※H-2000サイズ支柱では【2-1】はM8×120六角ボルトになります。

【3】2段 支柱セット

名　称	略　図	員　数
2段 支柱		1
胴縁ブラケット		4
【3-1】M8×120六角ボルト		4
【3-2】M8バネ座金		4
【3-3】M8平座金		2
【3-4】M8長穴用平座金		2

【4】ストレート継手セット

名　称	略　図	員　数
上スリーブ		1
下スリーブ		1

【4】ストレート継手セット（つづき）

名　称	略　図	員　数
上連結キャップ		1
下連結キャップ		1
【4-1】φ4×13ナベドリルネジ		8

【5】レベルエンド部品セット

名　称	略　図	員　数	
		1段	2段
レベルエンドカバー		1	1
エンドカバーキャップ		2	2
カバーブラケット		2	4
取付説明書 C353 (本書)	―	1	1
【5-1】φ4×10トラスタッピンネジ3種		11	16
【5-2】φ5×12トラスタッピンネジ3種		2	4

【6】傾斜エンド部品セット

名　称	略　図	員　数	
		1段	2段
傾斜エンドカバー		1	1
エンドカバーキャップ		2	2
カバーブラケット		2	4
取付説明書 C353 (本書)	―	1	1
【6-1】φ4×10トラスタッピンネジ3種		11	16
【6-2】φ5×12トラスタッピンネジ3種		2	4

【7】目隠しコーナー継手セット

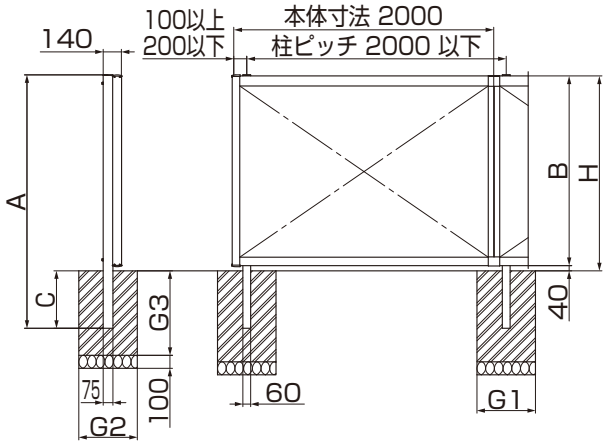
名　称	略　図	員　数	
		1段	2段
目隠しコーナーカバーA		1	1
目隠しコーナーカバーB		1	1
エンドカバーキャップ		4	4

名　称	略　図	員　数	
		1段	2段
カバーブラケット		4	8
【7-1】φ4×10トラスタッピンネジ3種		22	32
【7-2】φ5×12トラスタッピンネジ3種		6	10
【7-3】M5平座金		2	2
【7-4】φ10穴隠しシール		4	4

1. 基本寸法図および施工図

1-1 基本寸法図

(1) 本体1段タイプ H-1000～H-1830

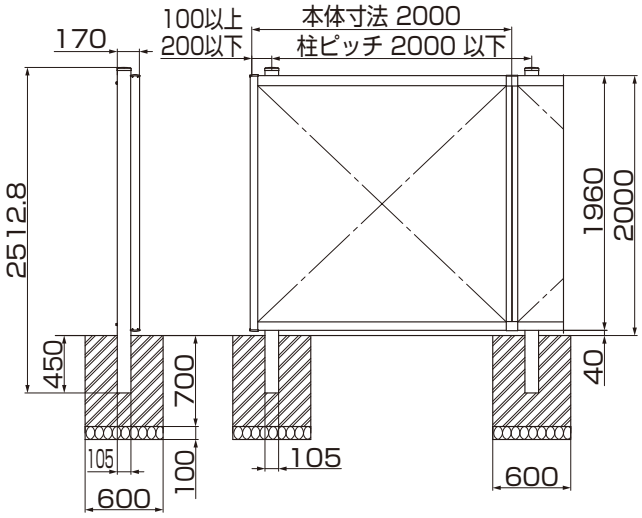


	H	A	B	C	G_1	G_2	G_3
H-1000	1000	1208	960	200	350	350	550
H-1200	1200	1508	1160	300	400	400	600
H-1500	1500	1858	1460	350	450	450	650
H-1830	1830	2288	1790	450	550	550	700

ポイント

- RE型の本体サイズに、H-1830、H-2000はありません。

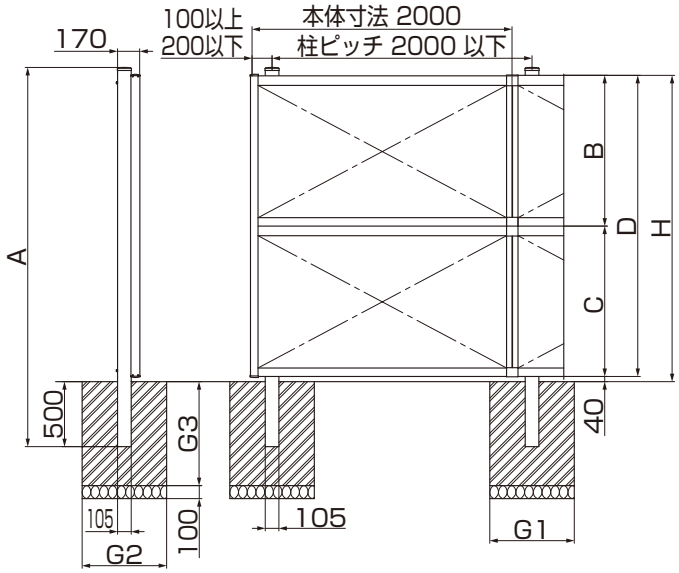
(2) 本体1段タイプ H-2000



1. （つづき）

1-1 つづき

(3) 本体2段タイプ H-1957～H-2987

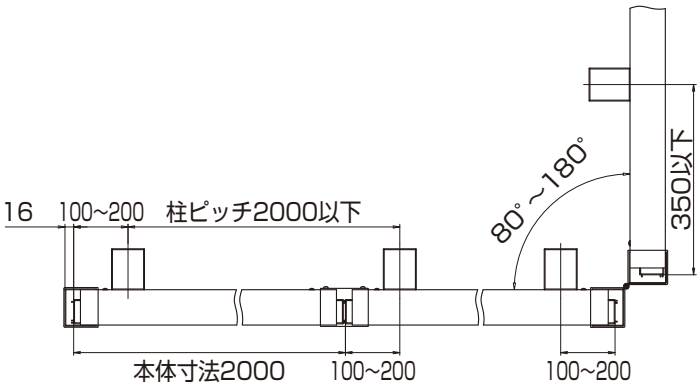


	H	A	B	C	D	G_1	G_2	G_3
H-1957(1000-1000)	1957	2532.8	960	957	1917	600	600	700
H-2357(1200-1200)	2357	2932.8	1160	1157	2317	650	650	800
H-2657(1200-1500)	2657	3232.8	1160	1457	2617	650	650	850
H-2657(1500-1200)	2657	3232.8	1460	1157	2617	650	650	850
H-2957(1500-1500)	2957	3532.8	1460	1457	2917	700	700	900
H-2987(1200-1830)	2987	3562.8	1160	1787	2947	700	700	900
H-2987(1830-1200)	2987	3562.8	1790	1157	2947	700	700	900

ポイント

- RE型の本体サイズに、H-1830、H-2000はありません。2段タイプの組合わせにはご注意ください。

1-2 端部、コーナー部の柱位置



注 意

- コーナー部分は風による力が集中するため、強度が低下しないように必ず柱を2本建てて施工してください。

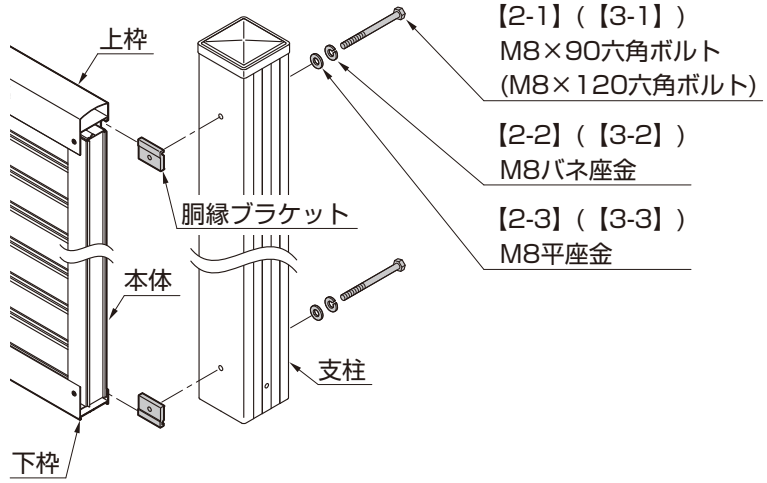
補 足

- 柱同士が近すぎて、施工が難しい場合は、片方の柱を本体端から350㎜以内の位置で調整して施工してください。

2. 本体の取付け

2-1 柱と本体の取付け

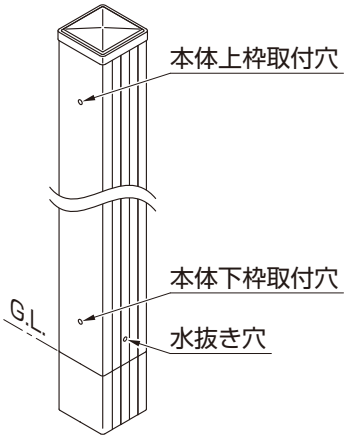
※図はH-2000の支柱を示します。



① 支柱の上側に開いている穴に、胴縁ブラケットを【2-1】、【2-2】、【2-3】(2段用支柱の場合、下段側本体は【3-1】、【3-2】、【3-3】、上段側本体は【3-1】、【3-2】、【3-4】)で仮止めしてください。

補足

- 仮止め時にボルトを締込み過ぎると、本体を引っ掛けられません。胴縁ブラケットから、ボルトの先端が飛び出ないようにしてください。



本体1段用支柱

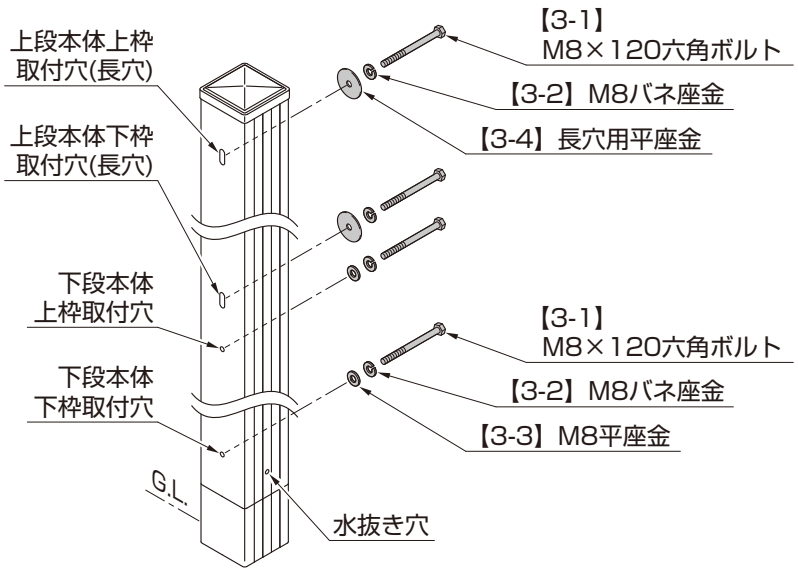
② 本体の上枠の溝を、胴縁ブラケットに引っ掛けてください。

③ 本体下側の溝に胴縁ブラケットを入れ、支柱下側に開いている穴で、胴縁ブラケットを【2-1】、【2-2】、【2-3】(2段用支柱の場合、下段側本体は【3-1】、【3-2】、【3-3】、上段側本体は【3-1】、【3-2】、【3-4】)で固定します。

④ ①で仮止めした胴縁ブラケットを固定してください。

ポイント

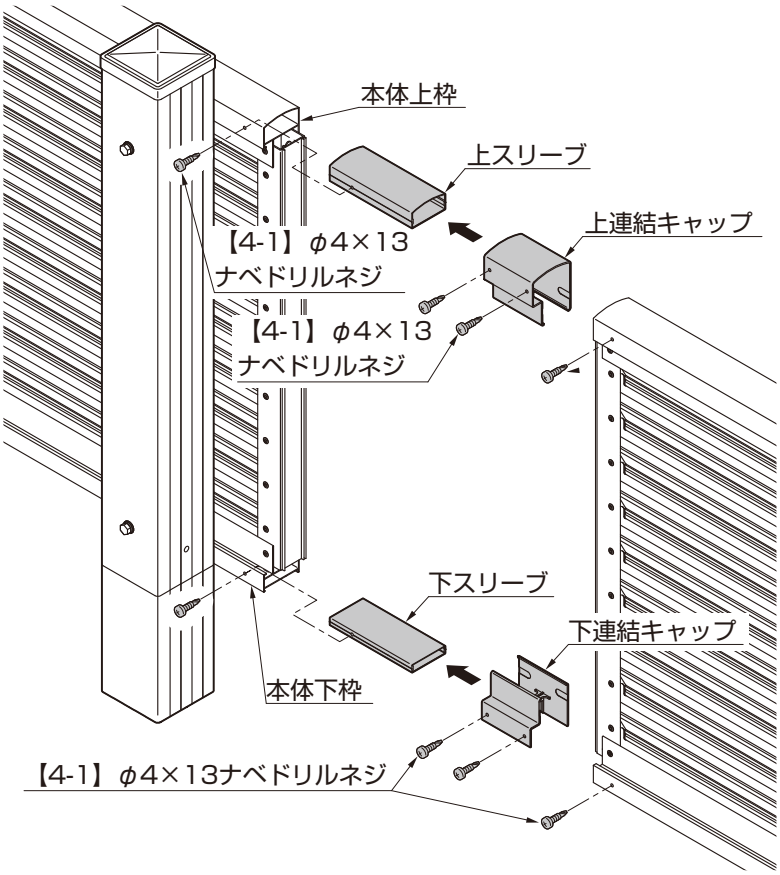
- 本体2段仕様の場合は、必ず下段側本体から取付け作業を行なってください。



本体2段用支柱

2.（つづき）

2-2 連結部分の取付け



① 本体上枠に上スリーブ、本体下枠に下スリーブを挿入して【4-1】で固定してください。

ポイント

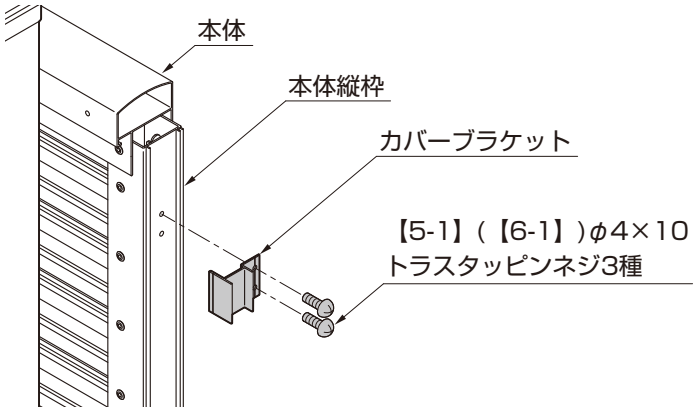
- スリーブは穴の開いている側を先に挿入し、【4-1】で取付位置を決めてください。

② 本体上枠に上連結キャップ、本体下枠に下連結キャップをかぶせ、連結する本体をスリーブに差込んでください。

③ 連結した本体を、【4-1】でスリーブに固定します。

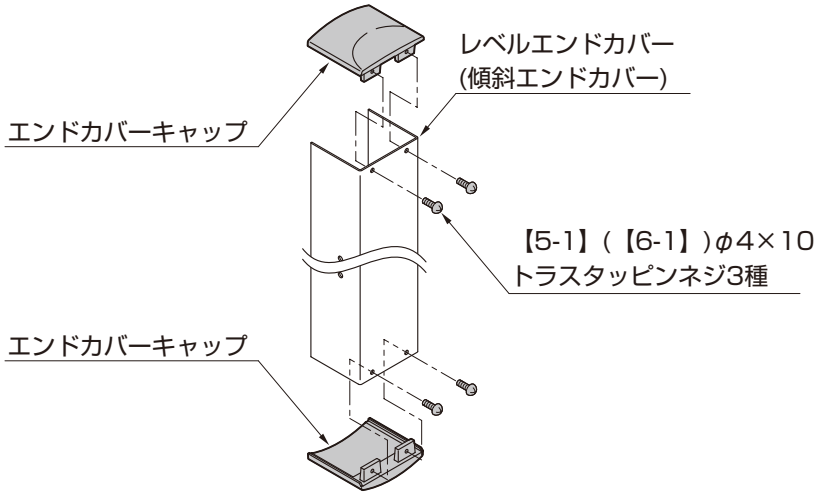
④ かぶせてある上連結キャップと下連結キャップを【4-1】で本体に固定してください。

2-3 エンド部品の取付け



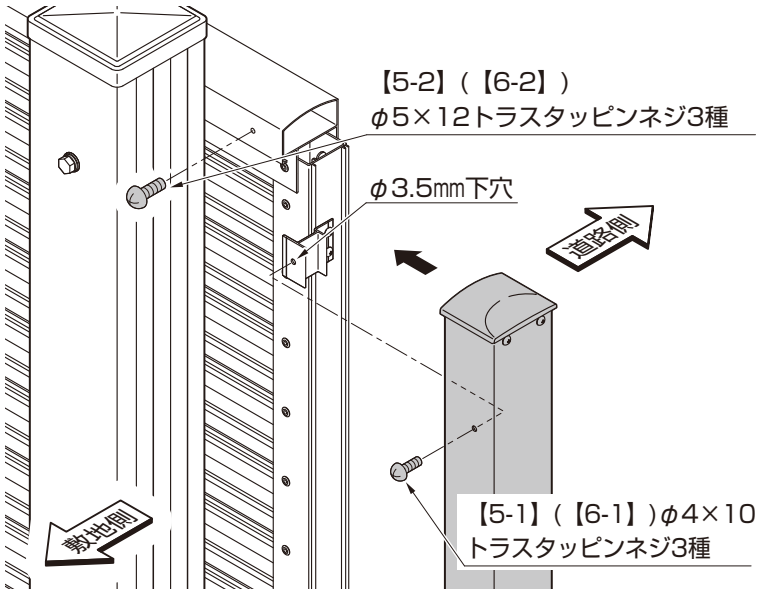
カバーブラケットの取付け

① 本体の本体縦枠に開いている穴に、カバーブラケットを【5-1】(【6-1】)で取付けます。



エンドカバーキャップの取付け

② レベルエンドカバー（傾斜エンドカバー）の端部に、エンドカバーキャップを【5-1】(【6-1】)で取付けてください。



レベルエンドカバーの取付け

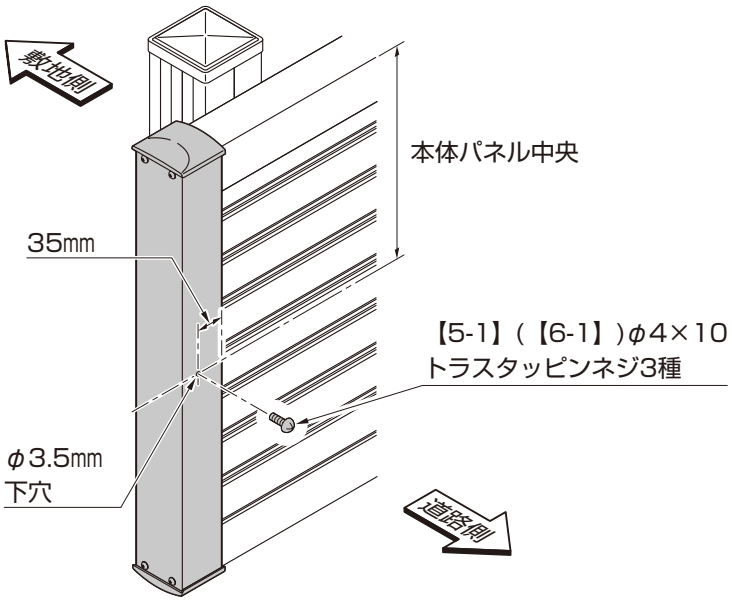
③ レベルエンドカバー（傾斜エンドカバー）の取付穴の開いている面を、敷地側に向けて本体にかぶせてください。敷地側カバー取付穴位置のカバーブラケットに、φ３.５㎜の下穴を開けて【5-1】(【6-1】)で固定してください。

④ 本体上下枠に開いているスリーブ取付用穴に、穴隠し用のネジ【5-2】(【6-2】)を取付けてください。

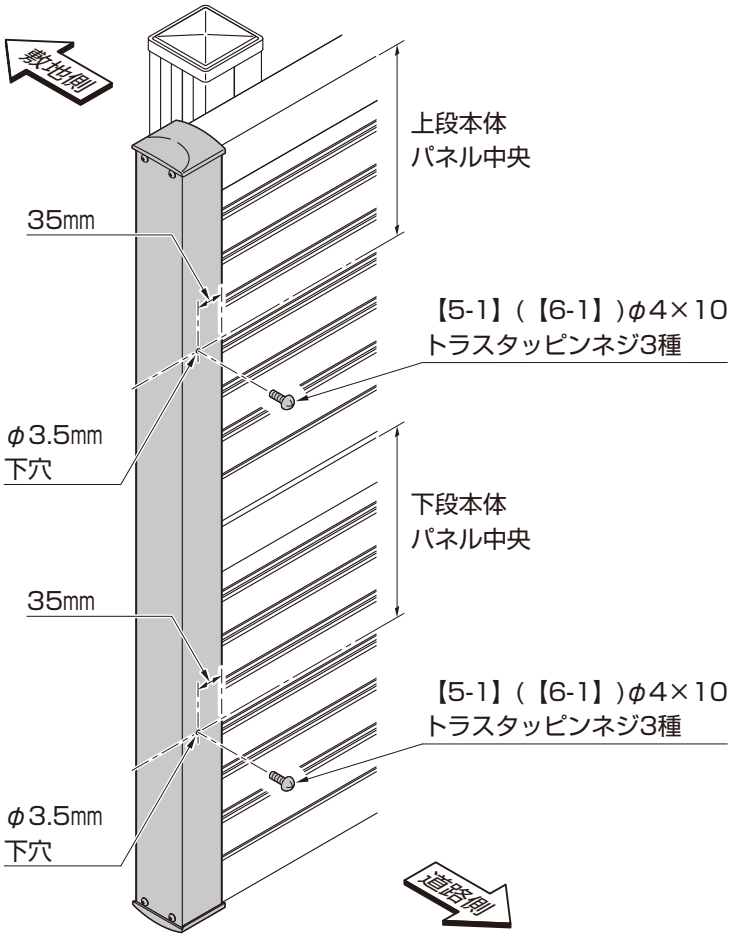
補足

- エンドカバーに上下の向きはありませんが、取付穴の有無により前後の別があります。
- レベルエンドと傾斜エンドのカバーは長さ寸法が違います。
- 傾斜エンド部分に、レベルエンドカバーは取付けできません。

2.（つづき）



本体1段の場合



本体2段の場合

⑤ 本体パネル中央付近の高さの、カバー端部から35㎜の位置に、φ3.5㎜のドリルで下穴を開けてください。

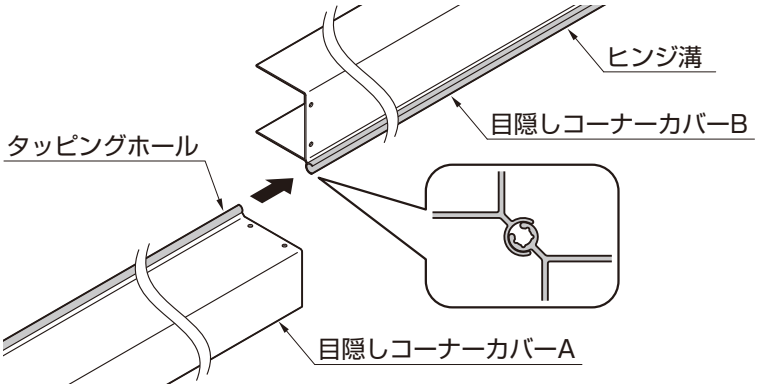
⑥ ⑤で開けた下穴に、【5-1】（【6-1】）を取付けてカバーを固定してください。

補 足

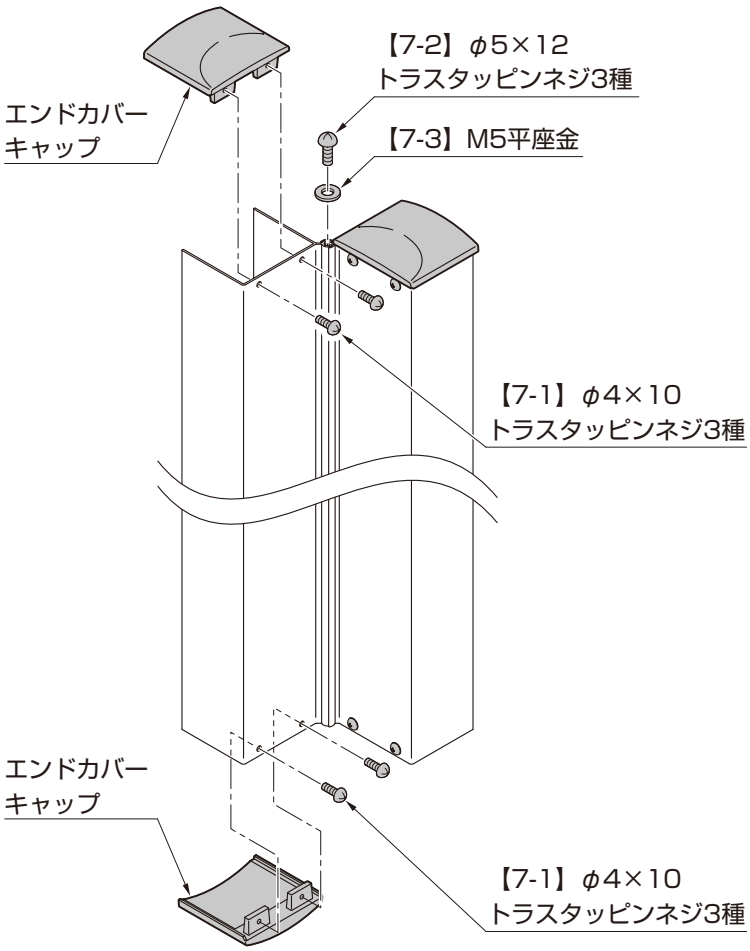
- 本体1段仕様の場合は1箇所、2段仕様の場合は2箇所の下穴加工となります。
- 傾斜エンドカバーを取付けるときは、パネル本体の角度により、カバーと本体上枠（下枠）の間に、隙間が生じることがあります。傾斜エンドカバーの上側と本体上枠の隙間をなくして取付けてください。

3. コーナー部の取付け

3-1 目隠しコーナー継手の組立て



① 目隠しコーナーカバーBのヒンジ溝に、目隠しコーナーカバーAのタッピングホール部を差込んでください。

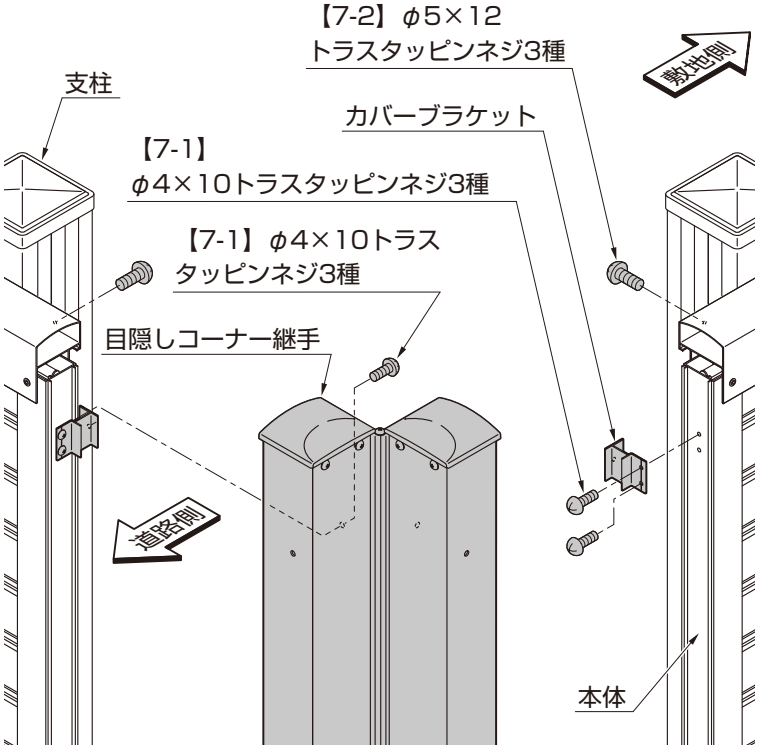


② 差込んだ目隠しコーナーカバーAのタッピングホールに【7-2】、【7-3】を取付けてください。
③ 目隠しコーナーカバーA, Bの端部に、エンドカバーキャップを【7-1】で取付けてください。

3.（つづき）

3-2 目隠しコーナー継手の取付け

※図は、出隅を示します。



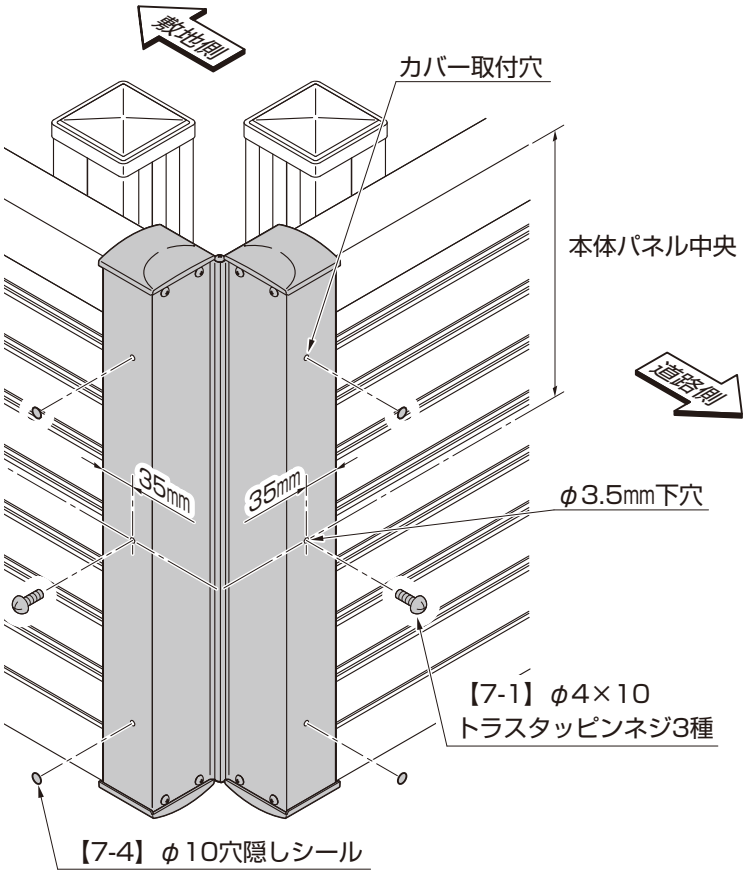
① 本体縦枠に開いている穴に、カバーブラケットを【7-1】で取付けてください。
② 目隠しコーナー継手を本体にかぶせ、敷地側はカバー取付穴位置のカバーブラケットにφ3.5㎜の下穴を開けてから【7-1】で固定してください。

注 意

- コーナー部分は風による力が集中するため、強度が低下しないように必ず柱を2本建てて施工してください。

補 足

- 対応角度は、コーナー角度で出隅・入隅共に80°～180°、傾斜角度で0°～30°です。
- 入隅に施工する場合は、目隠しコーナー継手を図と逆向きに使用してください。



③ 目隠しコーナー継手の道路側に開いている穴に【7-4】を貼付けてください。
④ 道路側本体パネル中央付近の高さの、カバー端部35㎜の位置に、φ3.5㎜のドリルで下穴を2箇所開けてください。
⑤ ④で開けた下穴に、【7-1】を取付けてカバーを固定してください。

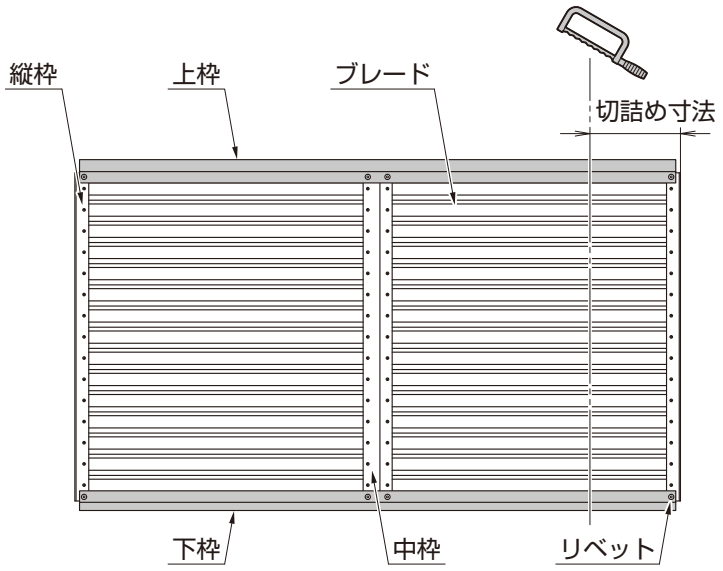
補 足

- 本体2段仕様の場合は、「2-3 エンドカバー部品の取付け」を参考にカバーに4箇所の下穴を加工してください。

4. 本体の切詰め

4-1 RA型本体の現場切詰め

※現場での切詰めは、作業工数も多く手間がかかります。
切詰め寸法を間違えますと、パネルが取付かないなどの不具合が発生するおそれがありますので、事前に切詰め寸法をご指定いただき、現場に搬入することをお勧めします。



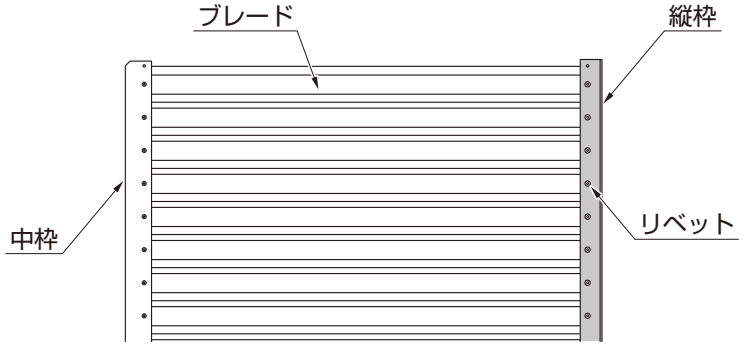
ポイント

- 縦枠位置と中枠（中帯）位置が重なってしまうため、片側切詰め寸法900㎜～1000㎜には対応できません。
- アルミ形材切断部で、ケガをしないように充分注意して作業を行なってください。

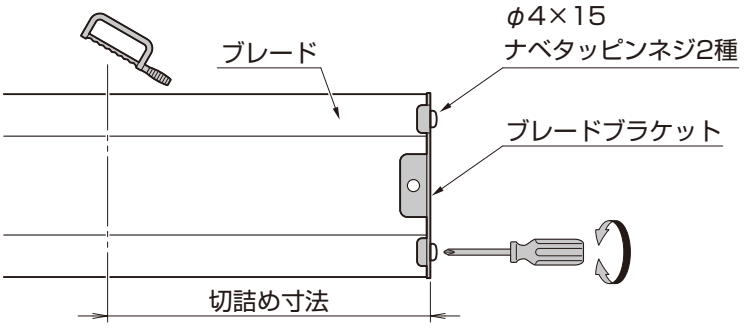
① 本体の上下枠と縦枠、中枠を固定している4ヶ所のリベットを取外してください。

補 足

- リベットの取外しは、φ5のドリルを使用してリベット中央に穴を開けて、リベットを外してください。

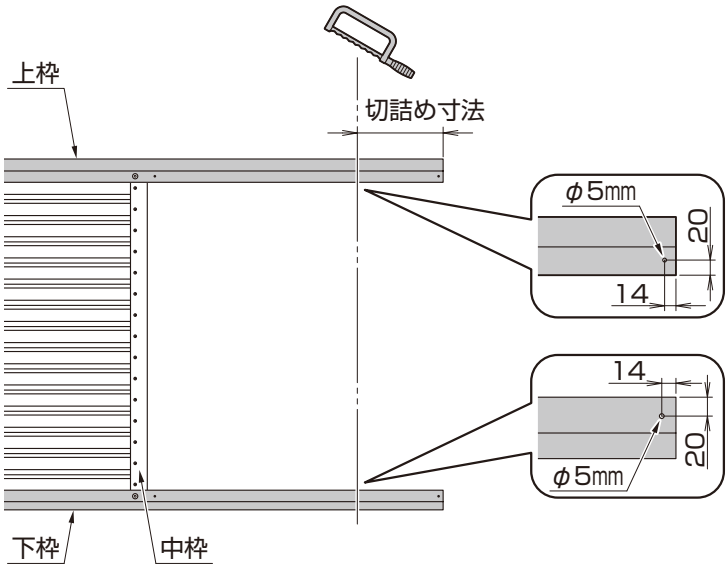


② 上下枠から、ブレードの付いたパネルを取外してください。
③ 縦枠側のブレードを留めているリベットを全て取外してください。

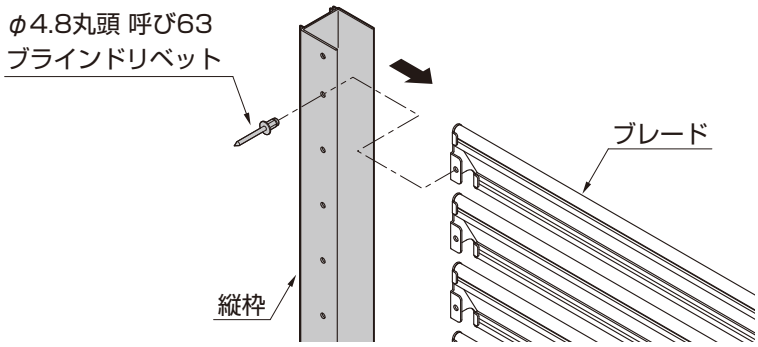


④ ブレード端部から切詰め寸法位置で、ブレードを切断してください。
⑤ 切断した側のブレードブラケットを固定しているφ4×15ナベタッピンネジ2種を外して、ブレードブラケットを取外してください。
⑥ 取外したブレードブラケットを、ブレードの切断した位置にφ4×15ナベタッピンネジ2種で取付けてください。

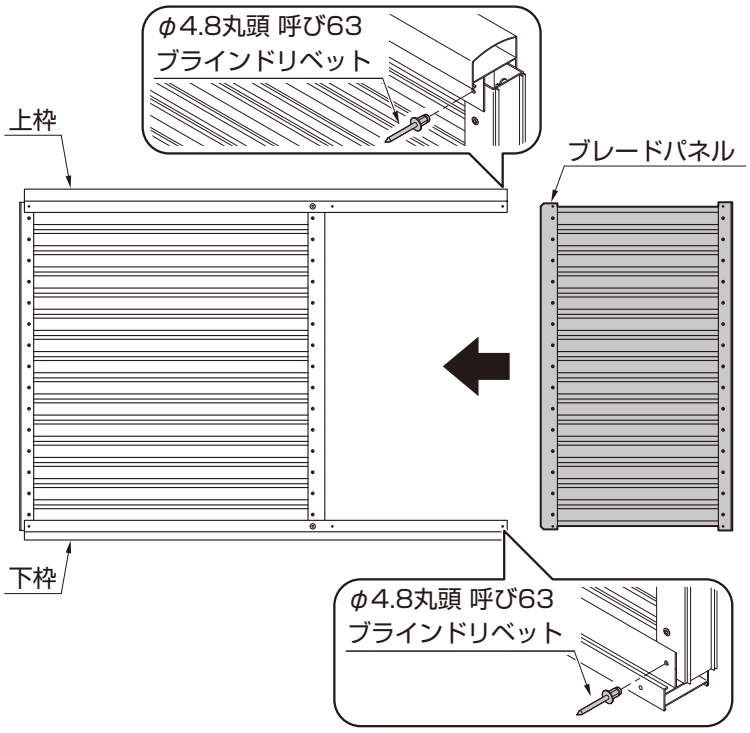
4.（つづき）



⑦ 上下枠の端部から切詰め寸法位置で上下枠を切断してください。
⑧ 切断した上下枠の図の位置に、φ5mmの穴を開けてください。



⑨ ③で取外した縦枠を、ブレードにφ4.8丸頭 呼び63のブラインドリベットで取付けてください。

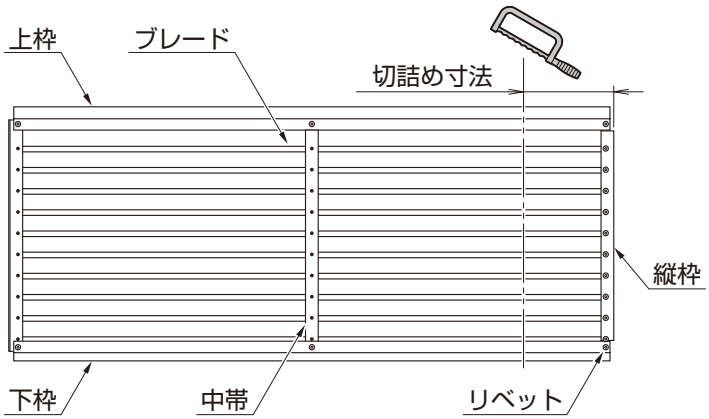


⑩ 組み直したブレードパネルを上下枠の間に入れて、φ4.8丸頭 呼び63のブラインドリベットで固定してください。

C353_201205C

4-2 RB・RC型本体の現場切詰め

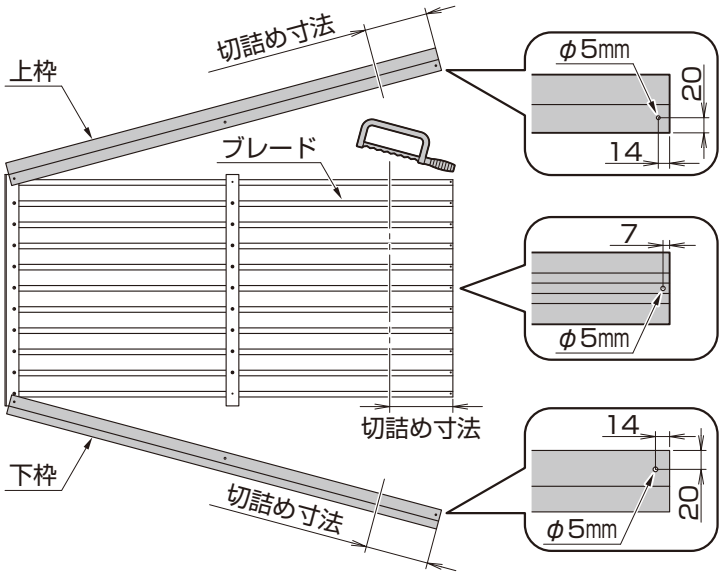
※現場での切詰めは、作業工数も多く手間がかかります。
切詰め寸法を間違えますと、パネルが取付かないなどの不具合が発生するおそれがありますので、事前に切詰め寸法をご指定いただき、現場に搬入することをお勧めします。



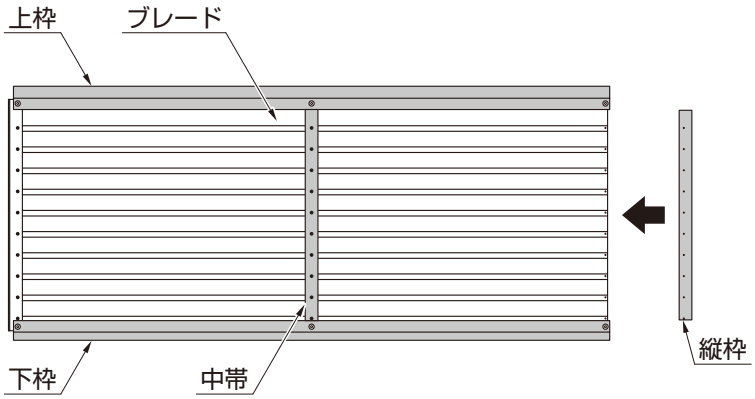
① 本体の縦枠を固定しているリベット全てと、中帯と上下枠を固定しているリベット2箇所を取外してください。

補 足

- リベットの取外しは、φ5のドリルを使用してリベット中央に穴を開けて、リベットを外してください。



② ブレード端部から切詰め寸法位置で、ブレードを切断してください。
③ 切断した全てのブレードの図の位置に、φ5の穴を開けてください。
④ 上下枠端部から切詰め寸法位置で、上下枠を切断してください。
⑤ 切断した上下枠の図の位置に、φ5の穴を開けてください。



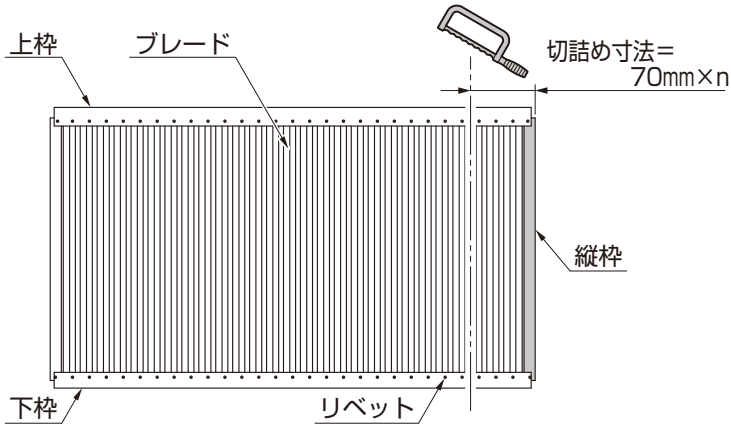
⑥ ①で取外した縦枠を本体にはめ込み、縦枠とブレード、縦枠と上下枠、中帯と上下枠の全てを、φ4.8丸頭 呼び63のブラインドリベットで固定してください。

4.（つづき）

4-3 RD型本体の現場切詰め

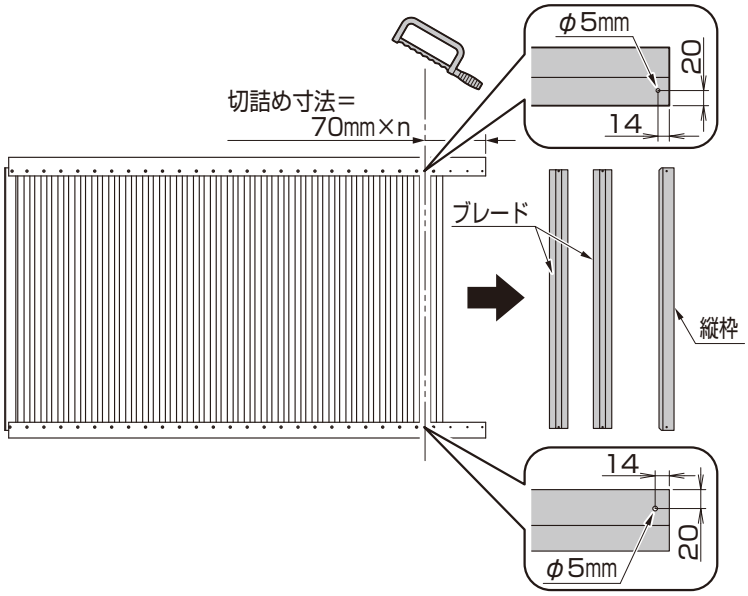
※現場での切詰めは、作業工数も多く手間がかかります。
切詰め寸法を間違えますと、パネルが取付かないなどの不具合が発生するおそれがありますので、事前に切詰め寸法をご指定いただき、現場に搬入することをお勧めします。

（1）本体の切詰め方法



ポイント

- RD型の本体サイズの切詰め寸法は、必ず70㎜ごとに行なってください。ブレード間に隙間ができたり、ブレードが納まらなくなるおそれがあります。
- 切詰めた上下枠に縦枠の取付け穴を開けた際に、外したブレードの取付け穴が残ります。
- H1830・H2000をご使用の場合は、P15.「（2）H1830・H2000横中帯の取外し・取付け」も参照してください。

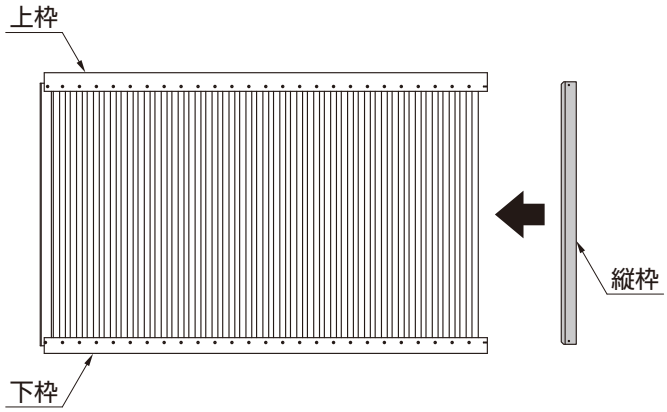


① 本体と切詰める側の縦枠を固定しているリベットを外し、縦枠を本体から取外してください。
② 切詰め寸法70(㎜)×n本分のブレードを固定しているリベットを外し、ブレードを本体から取外してください。

補 足

- リベットの取外しは、φ5のドリルを使用してリベット中央に穴を開けて、リベットを外してください。

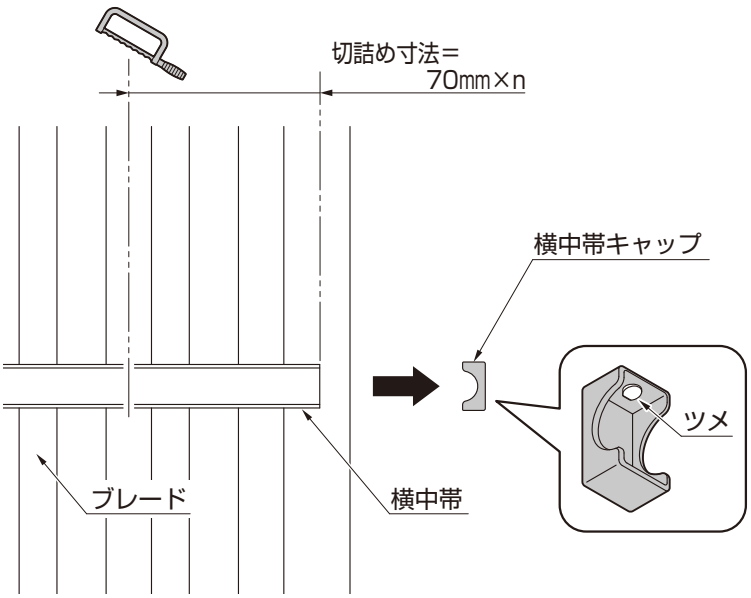
③ 上下枠端部から切詰め寸法位置で、上下枠を切断してください。
④ 切断した上下枠の図の位置に、φ5の穴を開けてください。



⑤ ①で取外した縦枠を本体にはめ込み、縦枠と上下枠をφ4.8丸頭 呼び63のブラインドリベットで固定してください。

4-3 （つづき）

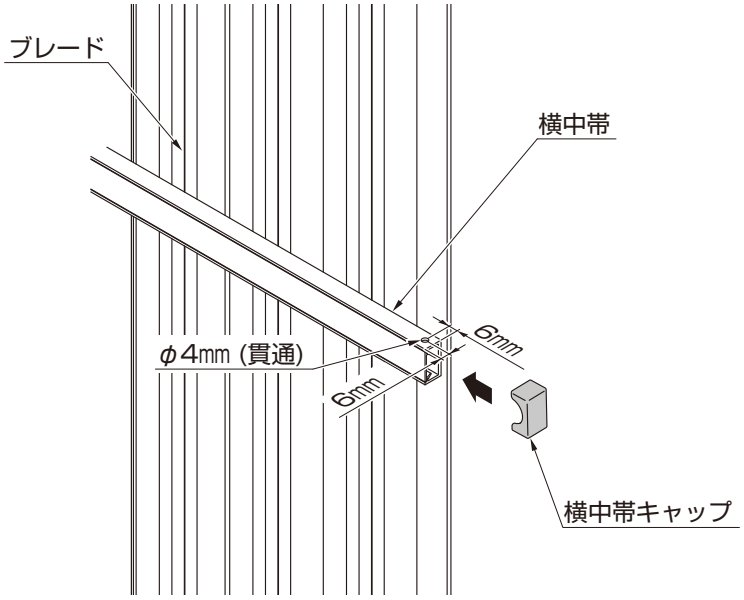
（2）H1830・H2000横中帯の取外し・取付け



ポイント

- 縦枠およびブレードの取外し・取付けは、P14.「【4-3】（1）本体の切詰め方法」を参照してください。

① 縦枠を取外した後、横中帯キャップについているツメを折らないようにして、気をつけて横中帯キャップを取外してください。
② 切詰め寸法位置で、横中帯を切断し、ブレードと一緒に取外してください。



③ 切断した横中帯の上面・下面の図に示した位置にφ4㎜の穴をあけてください。
④ 横中帯キャップのツメが穴に掛かるように、横中帯キャップを横中帯に差込んでください。

4-4 RE型本体の現場切詰めについて

※RE型は、ポリカパネルの切断、グレチャンの組付けがむずかしく、正しく組付けられていないとポリカパネルの強度に問題が発生するおそれがありますので、現場での切詰めはしないでください。

取説コード
C353
JZZ613625H
200611A_1043
201607I_1039